

■平成30年度第2回松田町総合計画審議会 意見対応方針

番号	意見	対応方針
1	町民の最大関心事である駅周辺整備は、どのようになっているのか。町民には情報が行き届いていない。	駅周辺のまちづくり協議会等で審議し、今年度に基本構想等を提示予定。 情報共有を推進する。
2	団体ヒアリング結果をアクションプログラムに反映する段階で、再度ヒアリング等を行うのか。行うならば誰がどう行うのか。	団体は多様であるが、より具体的な話を進める必要がある場合は、個別に対応させていただきたい。
3	第5次の取組みへの評価（庁内）において、「完了」と評価したものを、今後の見通しで「継続」とするのはどうか。	計画期間で「完了」しても、今後も必要で第6次に掲載「継続」する事業もある。 *参考資料2を作成しました。
4	施策動向調査で、町民アンケート結果における4区分の評価をどう活かすのか。	庁内でアクションプログラム（案）を検討する際、行政による評価と比較しながら、計画に反映していきたい。
5	将来像として「持続可能なまち」という表現は消極的すぎる。	事務局で再度検討したい。 *資料4に案を記載しました。
6	もっとシンプルなものが多い。	
7	案) 少数精鋭でがんばるまち	
8	案) 持続発展し続けるまち松田	
9	SDGsを計画に盛り込む必要があるのか。	国は推進する方向であり、自治体においても推奨されている。今後の動向を注視するが、可能な限り取り入れていきたい。
10	SDGsの17項目のゴールすべてを入れられるのか疑問である。	

■平成30年度第2回松田町総合計画審議会 その他の意見

番号	意見	回答
1	駅前の待合・案内所「つむGO」について ・入口の段差解消が必要。 ・観光客への案内機能が不足。 ・Wi-Fiを設置したほうが良い。	・入り口の段差 ⇒現状で可能な危険周知は実施しているが、所有者と調整し、更なる安全確保を検討。 ・案内機能、Wi-Fi 設置 ⇒観光まつりはスタッフを配置し対応。更なる機能強化は、本年度に実施予定。
2	新松田駅にロマンスカーが停車するよう取り組んでほしい。	・今後も粘り強く、小田急新松田駅、JR松田駅への特急発着を要望していく。 ・駅周辺整備やまちづくりによって、利用者増を目指す。
3	日常的な買い物が町内でできないのは町の弱点。この計画を機に一步踏み込んでほしい。	・既存事業と、ロマンス通りを中心としたメインストリート事業に取り組んでいく。 ・若者の視点を大事にしながら進め、総合計画に盛り込んでいきたい。